

事業所名

児童発達支援センター ひびお

支援プログラム

作成日

8年

3月

16日

|           |   |  |   |
|-----------|---|--|---|
| 法人（事業所）理念 | 『活き生きとした日々を！！』 `生きる、ための地域医療の福祉の発展 `活きる、ための地域経済の発展   |  |   |
| 支援方針      | 利用者様とその家族が笑顔で活き生きとした毎日が過ごせるよう、医療的ケア、重症心身障害、生活介護に対応しています。医療的ケア・リハビリ(個別/発達)・日常生活動作(動作訓練)の3つのサービスを軸に、ご利用者様の生活のお手伝いをしています。医療、福祉、その他の団体とのネットワークを築き、療育・発達支援・保育所等訪問支援・放課後等デイサービスを行っています。 |  |   |
| 営業時間      | 9時  | 0分から   | 17時 0分まで                                    |
|           | 送迎実施の有無   |  | あり なし                                       |
| 支 援 内 容   |   |  |   |
| 本人支援      | 健康・生活   | 利用者様の平常とは異なった状態を速やかに見つけ出し、ご家族様や、医療機関との連携を取りながら必要な対応を行います。睡眠、食事、排泄、衣類着脱等の基本的な生活習慣・動作を形成し、生活リズムを身に付けられるよう支援します。  |   |
|           | 運動・感覚   | 階段昇降を行ったり、バランスボール・ストレッチポール・ハンモック・トランポリン・バランスストーン等を用いて、体力や筋力向上を目的とした運動遊びを行います。水遊び、粘土、工作、鉛筆、感覚ボール等を使用し、感覚(過敏や鈍麻)や認知の特性を踏まえた支援を行います。音楽遊びを通し姿勢の保持、上肢、手指の動作性の向上などを促します。また、聴覚、視覚、触覚等の感覚機能の向上を図ります。 |   |
|           | 認知・行動   | ビジョントレーニングで感情の切り替えがスムーズになるよう支援します。型はめパズル、ブロック、カラーボール等を用いて空間、数量、大小、色の違い等の概念形成の習得を行います。生活カードや動物カード、数字カード等を用いながら、生活環境に密着した物の理解ができるよう支援します。  |   |
|           | 言語<br>コミュニケーション   | 口腔トレーニングで舌や口周りの筋力向上を目指し、発声等に繋げていきます。身振り、指差し、簡単なジェスチャーを身につけて行くことにより意思の伝達ができるように支援します。文字を見る・読む・書くことに慣れ、読み書き能力向上の支援を行います。手遊び歌やリズム遊びに合わせて発語や発声、模倣を促し、表出に繋げていけるよう支援します。                           |   |
|           | 人間関係<br>社会性   | 様々な年齢の子どもたちと関わりを持つことで社会性や協調性、思いやりの心を身につけます。朝の会、昼の会、夕の会など、毎日行う活動の中で相手の話を聞いて適切な行動に繋がられるように支援を行います。「はじまり」「おわり」を理解したり順番を待つなどの社会性を学ぶことができるよう支援します。  |   |
| 家族支援      | 定期的なモニタリングを行い、利用者様の発達や特性を踏まえ、家庭の困りごとに関する助言やサポート   | 移行支援   | 保育所等訪問実施により、幼稚園、保育園、学校との連携を図る<br>医療機関との情報共有 |
| 地域支援・地域連携 | 各種イベントや交流会の開催<br>自立支援協議会、関係機関開催の勉強会への参加   | 職員の質の向上  | 担当者会議の実施・参加<br>各研修・勉強会への参加・共有               |
| 主な行事等     | お花見・ハロウィン・クリスマス・お正月等の、季節に応じたイベントや製作活動。夏のプール遊び。  |  |   |